

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束を行わないことは共通認識しているが、言葉遣いがどうしても気になることがあり、慌てているときなど言葉尻がきつくなったりする。	互いに注意し合える関係性作りを行う。	小規模な職場のため、注意しあうことで関係性がぐぐクシャクすることを心配する職員も多く、話し合いを続けることで改善していきたい。言葉がきつくなると本人も気にすることが多く、介護に余裕ができるように勉強会を続けていく。	12ヶ月
2	2	本年度は中学生の体験学習に2名の生徒を受け入れ、入所者の100歳の誕生日をともに祝うなど交流の機会がもたれている。コロナ禍以前まで続いていた小学校などとの交流再開がまだできていない。	コロナにより絶たれてしまっている交流など少しずつだが改善し、ボランティアの受け入れなどしていきたい。	これからの感染状況によると思われるが、職場体験等受け入れを考えている。	12ヶ月
3	40 49	コロナ禍前は良く出かけたりすることで、外食したりできていたが、コロナから機会がなくなっている。	外食は難しいかもしれないが、お弁当など外で食べる機会を作る。家族と外食できる機会を作る。	レストランなどはまだ難しいかもしれないが、誉ヶ丘公園など環境には恵まれている為、お弁当を持って外出支援を行う。	12ヶ月
4	33	ターミナルケアを毎年行っているが、コロナにより家族の面会が思う様に出来なかったこともあり、以前ならお葬式にも職員一同で参加し、ご家族とゆっくり話し合う時間も取れているが、グリーフケアの時間がみんなと一緒にということができなかった。	まだ、以前のように職員や利用者、ご家族と一緒に話し合う時間は取れないと思うが、職員やご利用者の思いなど残されたご家族にも届けられるようにしていきたいと思う。	退所後も何回かの面接を行い、ゆっくり話す機会をとっていく。	12ヶ月
5	35	災害マニュアルについて今年度中にマニュアルの作り直しが必要。	当施設は小規模施設のため、災害時は誰でもリーダーになり判断できるようにしていく。	マニュアル作りを職員全員で話し合いながら行う	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。